

ああ夏が来た！

入院 重朝



もうすぐ八月がやって来るといふ時に、今年はやっと梅雨が明けた。土用の丑の日曜日。朝から晴れ渡り、ああ夏が来た！と声に出してつぶやくのだ。気が付くと九十を過ぎ、来月になれば九十二歳となる。自分では歳を取ったという感じはほとんどなく、足腰は若い頃と比べれば多少弱くなったが、気分はまあまあである。このぶんできくと百もあつという間かもしれないと思う。世間では長生きをしたと言われるほうになるだろう。

さて、長生きをしていいことがあつたか、これは何とも云えない。夫婦揃って健康であれば、これは申し分ない。しあわせそのもの

である。しかし、そんな夫婦はそう多くはない。私も妻が逝つてもう十二年になるということを思うと、自分でもそろそろという気持ちになる。しかし、どこか悪いところがあれば目安も付くが、どこもどうもないとなると、いいのか悪いのか、何とも云えない。この分ていくとあつという間に百歳になっているかもしれないのだ。

昔はガンになつて死ぬのが多かつた。今もそうかもしれない。なつたらなつたでこれは運命だから仕様がなない。何れみんな死んでいくのだから。それにしても、今もどこかで戦争をしている。人類は本当にイクサが好きだ。

(炉ばたセイ談庵主)

